

ドイツ子会社工場の竣工について

2012年12月に発表しました当社グループの欧州主要拠点であるホソカワアルピネ A.G.(アウグスブルク、ドイツ)の工場第三期工事が完了し、現地時間4月4日(金)に竣工式を行いましたのでお知らせします。

竣工式は、アウグスブルク市の市長や商工会議所会頭らを来賓に迎えて行われました。その中で、高度な“ものづくり”によって新興国を含む世界に広がる顧客層と当社グループ会社の期待に応え続けてきたことが、今日のホソカワブランドの信頼の源となっているとグループ会社を代表して当社代表取締役社長 宮田清巳が祝辞を述べました。

2007年3月に始まり、3期7年にわたった工事の完成により、組立工場や機械加工工場の充実、大型装置の増産体制の整備が進みました。加えて、内製比率の向上によるコスト削減や製造技術流出の防止を図り、当社グループ共通の特長である高度な製造技術による“ものづくり”の強化を進める体制が整いました。

また、これらの工場設備の充実は、昨年10月にドイツ子会社(ホソカワビーベックス GmbH、ラインガルテン)から統合した造粒機部門の集約・統合を円滑化する一役も担います。

(参考)

第1期工事	組立工場	2008年4月竣工、12.1Mユーロ(約16.9億円)
第2期工事	機械加工工場	2009年12月竣工、7.7Mユーロ(約10.7億円)
第3期工事	工場・事務所建設と改修	2014年4月竣工 11.2Mユーロ(約15.6億円)

(注：1ユーロ=140円で換算)

以上、お知らせいたします。



【完成した工場と事務所】



【アウグスブルク市長(中央)と当社グループ役員】